

資料編

研究通信「一日一步」



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年5月13日発行 文責：高清水



1歩目



～ 子供たちの笑顔につながると信じて ～

風薫る季節です。研究全体会へのご参加、ありがとうございました。各会場に分散して密を避けてのスタートとなりましたが、気持ちは密に連携して実践を積み重ねていきましょう。校長先生の言葉として「研究は子供たちのため」とお伝えしました。これは毎日授業をしている全ての先生方の思いに通じるのではないのでしょうか。その思いが、何よりの原動力になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

第1回 研究全体会のおさらい



令和4年度 研究主題

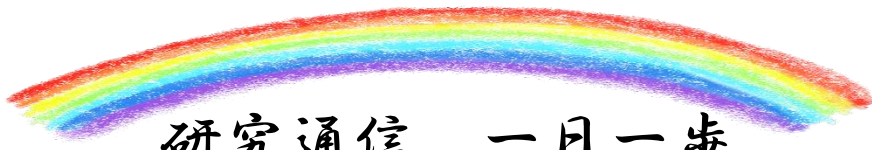
各教科等の資質・能力の育成を目指した学習評価の充実

ー 目標設定から学習評価までを見通して作成する単元シートの活用を通して ー

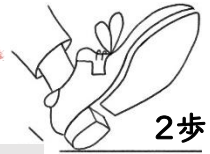
↓ 単元シート

【単元シート】	指導の形態	各教科等を合わせた指導(生活単元学習)	学部・学年・題材/単元名	中学校・2学年・夏を楽しく	時数	32	期間	06/23 ~ 08/31	記入者(TT)	佐久間(木村, 阿部, 後藤, 伊藤)
単元の目標		<p>育成を目指す主な教科等の資質・能力</p> <p>知 ①【家庭:中2:Bオ(ア)】住まいの整理・整頓や清掃などに関わる学習活動を通して、快適な住まい方や、安全について理解し、実践する。</p> <p>②【理科:中2:Bイ(ア)】身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>感 ③【家庭:中2:B オ(イ)】住まいの整理・整頓や清掃などに関わる学習活動を通して、季節の変化に合わせた快適な住まい方に実行し、工夫する。</p> <p>④【理科:中2:B イ(イ)】身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>主 ⑤【家庭:中2】社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>								
①	夏休みの望ましい生活について見通しを持ち、夏休みへの期待感を高める。									
②	教室の清掃や片付けを通して、友達と協力しながら自分よりよい環境作りをしようとする意欲を高める。									
③	植物を育て、植物に親しみ、大切にしようとする意欲を高める。									
時	日付	学習計画	○手立て・留意点	種	<p>本単元における個別の目標</p> <p>学習評価の充実のために有効な活用の仕方を協働して探っていきます。</p> <p>6月16日(木)の研修の日に、研究部から具体的な活用の例をいくつかご提示します。</p>					
常時活動		1 はじめのあいさつ 2 今日の活動内容を知る	○学習に迷った環境を整え、T1や提示する教材に注目しやすくする。		<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
1	夏の作品を作る 6/23~7/5	・夏をモチーフに個人作品と壁面に飾るための共同作品を作る。	○作品を作るために、夏のイメージを考えられるようイラストなどを示す。 ○個人作品のための、夏をイメージした文章を書く。	理家	<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
4	夏休み直前確認 つたね会 I 7/9~12	・自動販売機に買い物学習に行く。 ・ゲーム大会等を企画し、夏休み前に友達と一緒に確認したことを共有する。	○ゲームを2本導入し、1本は当日、もう1本は夏休み前の振り返り学習の時に飲むことを知らせ、参加呼びを促す。 ○わくわく教室などで取り組んで自分たちが楽しかったゲームを選び、協力して楽しく活動できるようにする。	社	<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
4	大掃除しよう 7/14~19	・教室の窓や床、机、いす、ロッカーなどをきれいにする。	○気持ちよく生活するためにどうするか考えられるように、写真などを示す。 ○掃除する場所ごとに掃除の方法や道具を示す。	家	<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
3	夏休み直前 確認つたね会 II 7/20~21	・確認したことを客員等で振り返りシートにまとめて発表し合う。 ・確認つたね会をする。	○夏休み前の学習や行事を客員等で振り返り、自分が確認したことや思い出に残ったことを客員等から選べるようにする。 ○簡単なゲームを楽しんだり、会食しながら思い出の写真を振り返りたりする。	社	<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
6	夏休みの生活(前)夏休みに向けて 7/20~21 (後)夏休み明け確認つたね会 8/26~27	・夏休みの過ごし方を考える。 ・夏休みのめあてを考える。 ・夏休みに確認したことや思い出を発表する。 ・前期のまとめの学習に見通しを持つ。	○夏休みの生活について、イラストや写真などを提示し、より良い過ごし方を考えられるようにする。 ○夏休みの生活で確認したいことや気をつけたいことを選べるよう、写真やイラストで分かりやすく示す。 ○夏休み前に考えためあてや「夏休みの思い出」をもとに、発表できるようにする。 ・夏休みの情報として、めあてシートや思い出シートを事前に保護者へお預りする。 ○夏休み明けの学習や行事について、写真などを利用しながら見通しが持てるよう提示する。	家社	<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
4	植物を育てよう 8/30~31	・夏に植える植物を知る。 ・鉢植えて育てる植物を植える。	○夏の植物を客員等で提示する。 ○植物の育て方と季節の移り変わりを関連付けて考えられるように示す。 ・一人一鉢育てようとする。	理	<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
常時活動		終わりのあいさつ	・あいさつする日頃の生徒に注目するように促す。 ・姿勢を正して、あいさつできるようにする。		<p>知 ① 集団の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>② 身の回りの簡単な手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>③ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>④ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑤ 日常生活の手洗いや仕事を進めようとする。</p> <p>⑥ 自分のことに取り組みたり、身だしなみ、社会及び自然に自ら働きかけて学んだりしようとする。</p> <p>⑦ 自分の成長を誇り、なごむ、夏を楽しく過ごすことができる。</p> <p>⑧ 望ましい生活環境や命の大切さについて実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑨ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑩ 身近な動物や植物の生長と季節の変化に着目して、それらを関係づけて観る活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に着ける。</p> <p>⑪ 住まいの主な働きや、整理・整頓の仕方について知り、実践しようとする。</p> <p>⑫ 季節の変化に合わせた住まい方や清掃の仕方を実行し、工夫しようとする。</p> <p>⑬ 家族とのやり取りを通して、よき生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。</p> <p>⑭ 身近な動物や植物の変化について観る中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、検証する。</p> <p>⑮ 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。</p>					
<p>単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの観点から)</p> <p>・教育課程の単元構成上、学習内容が煩雑になったことは、今後改善が必要と思った。</p> <p>・小単元については、生徒の実態を踏まえて、学習する内容や教材、資料の提示の仕方、場数を工夫し、単元</p>										

★近日中に、先生方へのアンケート調査を実施する予定です。御協力をよろしくお願いいたします。



研究通信 一日一歩



2歩目

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年6月13日発行 文責:富士原

研修の日②



【日時】 6月16日(木) 15:30-

【形式】 リモートで実施

【会場】 小学部：視聴覚室

中学部：プレイルーム

大／高等部：体育館

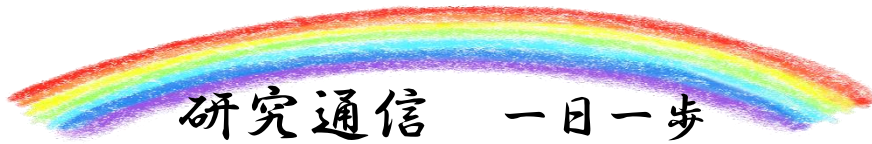
【内容】 ①学習指導要領における学習評価とは

②評価基準と目標

③単元シートの有効活用

お休みのご予定などあるとは思いますが、何卒御参加いただけますと幸いです。





宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年6月20日発行 文責:高清水



～ 虹を作るには少しの雨が 필요한んだ ～

梅雨入りが発表されました。虹を作る雨, 作物を育てる雨, マイナスイオンを出す雨…。そう考えると, 雨も悪くないと感じます。そうそう, 昔から「晴耕雨読」という言葉も使われてきました。

さて, 今回は6月16日(木)研修の日を振り返ってみます。

研修の日②のおさらい



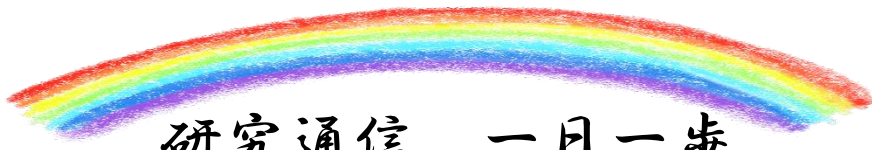
学習評価を見通した個別の目標欄(単元シート)の使い方について取り上げました。

研究部から提案したのは以下の3つの使い方です。

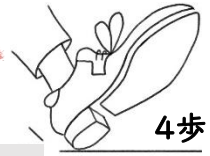
個	AA	BB
知	来たボールを取ることが分かり, 手を伸ばすことができる。 	ボールを見ることが分かり, 目で追うことができる。 

個	教科	本単元における個別の目標	評価			メモ欄(配慮・具体的な姿など)
AA			知	思	主	◎:達成できた ○:概ね達成できた △:達成には至らなかった
BB			知	思	主	

教科		本単元における個別の目標	評価・メモ			
知	国中1		A	B	C	
	国中2		D	E	F	G
	音高1		H	I	J	K



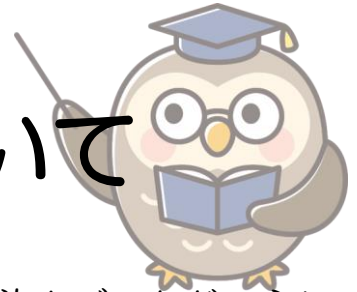
研究通信 一日一歩



4歩目

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年7月8日発行 文責:富士原

研修の日 : 7/11(月) : 14(金) について



2日間の研修の日を活用して、単元シートの活用方法に馴染んでいただこうと考えています。より良い学習評価を行うために、個別の目標欄の使い方はどのような方法があるか、みなさんと一緒に考えていきましょう！

07/11(月)

【やること】

○当該学年にある、単元シートを作成して実践する単元の選定

【場 所】

○授業実践を行う単位毎に集まってください。

07/14(木)

【やること】

○個別の目標欄のより良い使い方について話し合い、共有する。

【場 所】 小：視聴覚室 中：プレイルーム 高：体育館

【話し合いについて】

○正解はなく、学習形態や実態、支援者にとってどのような項目や枠組みがあると、使いやすいかたちになるかを考えてもらえると良いと思います。

情報量が多い

目標や学習評価を詳細に書けない など

解消したい



【教科:学部:段階】		育成を目指す主な教科等の資質・能力	
知	【教科:学部:段階】		
情	【教科:学部:段階】		
意	【教科:学部:段階】		
個別の目標達成に向けた学習	項	メモ欄(記入・消すは任意)	
		○:達成できた	
		◇:個別達成できた	
		△:達成には至らなかった	

ココ!

研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年7月20日発行 文責：高清水



～ 熱い話合いが行われました（高等部編） ～

研修の日として、7月11日（月）には学年ごとに授業実践を行う単元の選定を、14日（木）には単元シートの個別の目標欄の使い方を検討していただきました。（既に授業実践を終えた学年は評価と振返りを行っていただきました。）学部ごとに分かれての研修でしたが、各会場で熱い話合いになったとのことでした。

さて、季節は夏。「家の作りやうは、夏をむねとすべし」（家を作る時は夏の暑さがしのげる事を一番に考えて作るべき）と書かれていたのは「徒然草」です。作者の吉田兼好は鎌倉時代末の人なので、700年以上前から夏の暑さに参っていたのだと思うと何だか親しみがわきますね。

現代でも夏の暑さ対策をしながら、授業作りへの情熱を燃やし続ける先生方の取り組みに頭が下がります。

研修の日③④のまとめ



学習評価を見通した個別の目標欄（単元シート）の使い方について話し合いを行っていただきました。今回は高等部の話合いで検討された使い方を紹介します。

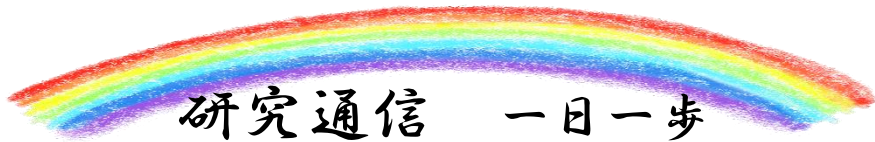
個	教科	本単元における個別の目標	評価	メモ欄（配慮・具体的な姿など）
A B	知	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 同じ目標を設定する複数の生徒について3観点に分けて記入できます。評価はそれぞれの生徒について記号で表記します。また、取り組みの様子や講じた手立てはメモ欄に残すことができます。 </div>	A	
	思		B	
	主			

個	教科	本単元における個別の目標	評価	メモ欄（配慮・具体的な姿など）
A B		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 同じ目標を設定する複数の生徒について記入できます。観点別の目標を踏まえた目標を端的にまとめて表記し、見やすくなります。 例：（主）な取り組みを通して、（知）を理解し、（思）にまとめることができる。 </div>	知 思 主	◎：達成できた ○：概ね達成できた △：達成には至らなかった
			知 思 主	

高等部では、10人以上の生徒を対象に一斉指導することが多く、上記のように複数の生徒の目標をまとめて表記する工夫が寄せられました。評価については個々に記入できるようになっています。授業実践後の振り返りや個別の指導計画への生かし方などについても、是非御意見を伺いたと思います。



単元シートは「研究部→00実践の共有→00原本」に入っています。ワードとエクセルの様式がありますので、使いやすい方を御活用下さい。また、作成した単元シートは、各学部のフォルダに保存してください。



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年7月22日発行



6歩目

～ 小学部の研修の日のまとめ ～

小学部の研修の日として、7月11日(月)には学年ごとに授業実践を行う単元の選定を、14日(木)には単元シートの中の個別の目標欄の使い方を検討していただきました。今回は小学部で挙がった意見を一部紹介します。

単元シートの個別の目標と授業シートの目標のズレ

→メモ欄の活用

子ども1人1人によって10時間あたりのスポットの当て所が分かるようにする

↓

教員間で子どもの目標を共有でき、働きかけが焦点化できる(のでは?)

メモ欄の活用による教員間の支援の統一(1年生)

重複児童の目標設定には、

同じような内容になってしまうことがあり

悩むことが多い。→メモ欄に少しの変化を見逃さず記入し、おくことで評価につなげることができるよう工夫している

メモ欄の評価(個別の指導計画)への活用(2年生)

単元シートの個別の目標を三観点ごとにイラストでまとめる。(提案は:目標シートから(旧支援シート))

顔写真

イラスト

評価 ○○△

←文

個別の目標へ3観点ごとにイラスト追加(3・4年)

通年、対象1人

「手を使ってチャレンジ」

- ・描いてみよう
- ・点けてみよう
- ・取ってみよう

1枚のシートに全て集約

2人以上

それぞれ項目で作成

年間を通した単元シートの使用と項目の変更(訪問学級)

5年生の活用法 ... まずは長続きする様式を考えていく。(評価までの流れを把握するための)

- ・単一の児童
従来どおりの枠も活用
- ・重複の児童
枠を広め、イラストあり

合わせて活用

年度頭初の個別の指導計画の目標を抜粋的に入れていく。

個別の評価に負担感がおさまらない。

学習内容と評価の枠を入れ替える。

個別の指導計画の目標の転記(5年生)

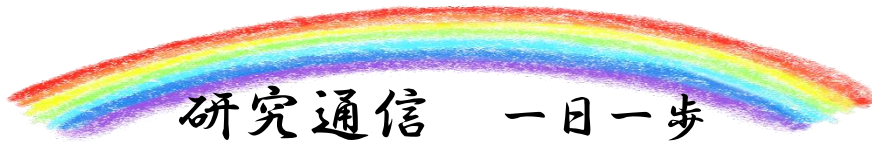
シート → 途中で目標の見直しや立派の工夫ができる。

シート → 毎回評価するのは負担。スペースが小さいため、長期の単元のとき大変。

毎時の評価の積み重ねと裏面の活用(6年生)

今回話し合った内容や他のグループのアイデアを、実際の授業作りに是非生かしていただければと思います。そして授業実践後の振り返りや個別の指導計画への生かし方等についても、是非ご意見を伺いたいと思います。単元シートは「研究部→00実践の共有→00原本」に入っています。ワードとエクセルの様式がありますので、使いやすい方を御活用下さい。また、作成した単元シートは、各学部のフォルダに保存してください。





研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年7月25日発行 文責：後藤



7歩目

実践スタート!! 中学部1年 生活単元学習「夏を楽しくI」

7月1日に中学部1年生の生活単元学習で、5人の先生方が単元シートを使って実践してくださいました。授業シートと単元シートは「01校務部」⇒「令和4年度」⇒「6-4研究部」⇒「00実践の共有(単元・授業シート)」のフォルダに入っています。実践に取り組んだ学年の先生方と授業を参観された先生方の感想を幾つか御紹介します。



T1 太田周吾先生より

<単元について>

「花火のちぎり絵」をテーマに、夏のクイズから始まり、作品制作、最後の時間には一人一人の花火を打ち上げる花火大会を行いました。単元を通して、生徒が五感を使って楽しめるよう工夫しました。例えば、単元の最初の夏のクイズでは、写真を見て夏の風物詩を選ぶだけでなく、風鈴や花火の音だけを聞いて何の音か考える、音当てクイズを取り入れました。花火大会では、生徒自身が太鼓をたたいて花火の音を連想できるようにし、「自分の花火を打ち上げること」をより感じるできるよう工夫しました。

<個別の目標を達成するための手立てについて>

生徒の実態がとても幅広く、生徒全員が主体的に学び、楽しめるよう手立てを工夫しました。特に、重度重複生徒が五感を使って楽しめるように、作品制作ではシュレッターで折り紙を裁断して音を楽しんだり、花火大会の時間には、雨どいにビー玉を転がして音を連想したりすることができるようになりました。



参観された先生から

<単元について>

花火の(作品を)制作をする中で、本物の花火の写真を見ることに始まり、光の筋をイメージする線を付けたり、太鼓で音を連想させたりと、五感を使う仕掛けが素晴らしいと思います。発表では、特等席で自分の作品を打ち上げる演出があり、一人一人にスポットが当たる工夫もとても良かったです。勉強になりました。

<授業について>

太田先生が落ち着いた声で子どもたちの様子、表情をよく見ながら授業を進めていて良かったと思います。また、T2~T5の役割分担がはっきりしていると同時に、連携しながら進んでいると感じました。普段からしっかりとコミュニケーションを大切にしながら指導されていることが指導案からも授業からも伝わってきました。

学部では、こんなご意見もありました

参観された先生から

今回は楽器の音ではありませんが、花火や自然の音も立派な音楽。扱う教科について、音楽も入れてほしいです。



太田先生から

今回の単元で扱う教科は、教育課程に則っています。花火の音を音楽として扱う視点、新しい発見でした。



中学部1年生の先生方、実践のトップバッターを務めていただき、ありがとうございました。生徒が主体的に学ぶための工夫について、みんなで考えることができました!

研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年7月26日発行 文責：後藤



8歩目

～ 中学部の研修の日のまとめ ～

7月14日(木)の研修の日に、2学年と3学年の先生方、主事、副主事には、単元シートの個別の目標欄の使い方を検討していただきました。1学年の先生方には、既に実践した単元について評価していただき、単元シートを活用した感想をいただきました。



今回はそれぞれの学年から挙がった意見や感想をいくつか紹介します。

1学年

項目	メモ欄(記号・具体的な内容)
1 単元の目標を記入したとき、その内容をよく読んで、自分の授業にどう活かすかを考えておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
2 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	△:達成には至らなかった ◇:思った
3 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
4 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
5 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
6 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
7 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
8 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
9 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた
10 単元の目標を達成するために必要な学習活動や教材を整理しておく。	◎:達成できた ○:目標達成できた

以前、単元シートのメモ欄に生徒の支援の仕方等を予め記入して使ったことがあります。予め手立てや留意点が記入してあると、自分の担当する生徒以外の子供たちへの支援の仕方も分かりやすかったですよ。

今回は評価のときに活用しやすいように空欄にして授業をしました。(千葉佳子先生)

2学年

【教科:学部:段階】
<p>昨年までの様式と同じですが、メモ欄の項目は、Xメモ欄には記入する。</p> <p>昨年までの様式と同じ様式 Xメモ欄の項目は、Xメモ欄には記入する。</p> <p>Xメモ欄には、評価内容を記入する。</p>

昨年までの様式と同じですが、メモ欄の項目は「メモ」のみでいいのではないかと思います。メモには評価内容を記入します。

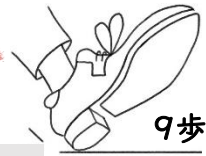
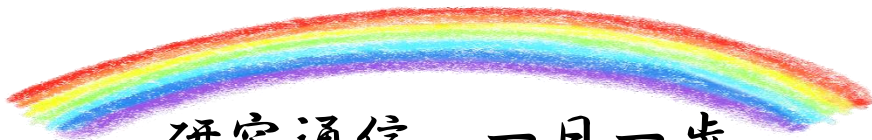
3学年

【教科:学部:段階】
<p>単元の目標と育成を目指す主要な教科等の資質・能力との関連を整理するとともに、学習評価や単元の反省までの流れを重視してシートの各欄を並べ替えます。</p> <p>単元目標</p> <p>育成を目指す主要な教科等の資質・能力</p> <p>学習評価</p> <p>単元の反省</p>

単元の目標と育成を目指す主要な教科等の資質・能力との関連を整理するとともに、学習評価や単元の反省までの流れを重視してシートの各欄を並べ替えます。



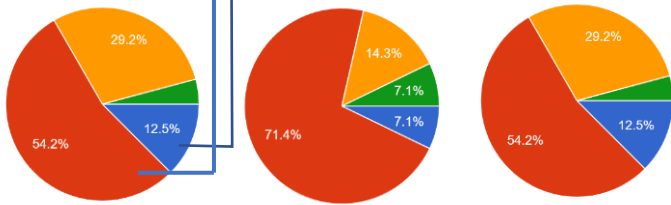
以上のように、研修を通して、単元シートの使い方や活用する意義について、話し合いが深まりました。中学部の先生方、ありがとうございました。今後も忌憚のない御意見をいただけたらと思います。



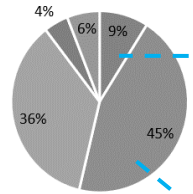
校内研究アンケート結果

①単元の指導をする中で、児童生徒の目標や手立てを踏まえ、学びの姿や配慮事項を記録している。

肯定的な割合



- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない

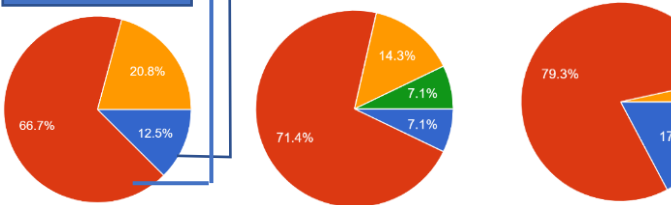


■ 昨年度：54%

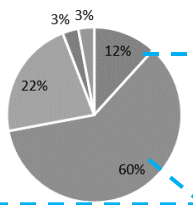
■小学部：66.7% ■中学部：78.5% ■高等部：75.8%

②児童生徒一人ひとりの学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価（何が身に付いたか）をしている。

肯定的な割合



- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない

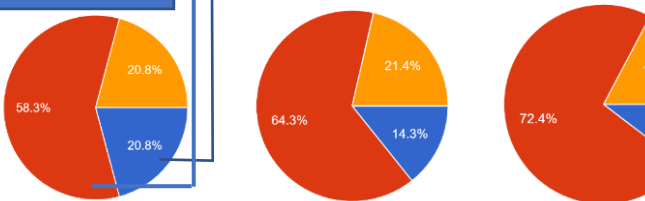


■ 昨年度：72%

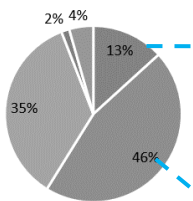
■小学部：79.2% ■中学部：78.5% ■高等部：96.5%

③児童生徒の学びの姿や学習評価を踏まえた上で、単元の指導についての反省を教員間で共有している。

肯定的な割合



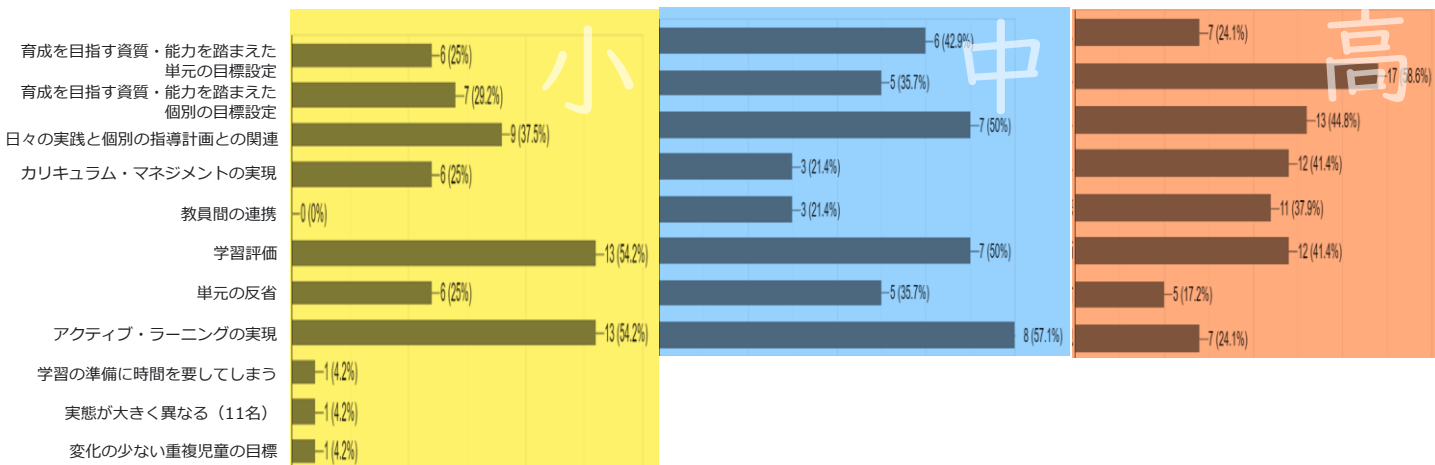
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない



■ 昨年度：59%

■小学部：79.2% ■中学部：78.6% ■高等部：82.7.8%

④授業を行う上で不安を感じている内容



⑤校内研究を深める上で、必要だと感じていることや、取り組んで欲しいことなど (自由記述)

■小学部

- ・全員参加型の研究になると良いなあと思います。
- ・身の丈に合った課題に取り組むだけで精一杯です。
- ・授業後に単元の目標に対する単元の反省と個別の目標に対する学習評価を確実に単元シートに記入して教員間で確認する必要があると思う。
- ・大きな括りで作られた単元の場合、個別の目標はスモールステップの評価でよいのか。1人一実践授業を提供されたとき、単元の目標だけでは、この授業時間のねらいがはっきりしない子供がいることがあり、見てほしいポイントがわからないな、と思うことがあった。
- ・時間的に難しいこともあるが授業を参観し合うことが必要なと思います。
- ・授業の実践と事後検討会等での反省の機会。
- ・校内研究と関係ないかもしれませんが、子供の姿から思い付いて、教師同士でああでもないこうでもない…と言いながら、授業を作っていくみたいです。
- ・個別の目標に迫るために有効だった教材教具の実際を共有すること。
- ・目標を達成するための教材教具の工夫。
- ・時間の確保。
- ・新学習指導要領の3観点を踏まえた目標設定と、段階を踏まえ、実態に応じた個別の目標設定については、この2年間で実践が積み重ねられたと思います。今年度のテーマである評価の部分の取り組み方、勉強します。
- ・教材研究、事例研究。
- ・児童が主体的に学習できるための支援、手立てを大切に研究していきたいです。
- ・時間的余裕(会議等の精選による時間の確保等)・計画的(見通しの持てる)進行…。
- ・全体会や研修の日で理解したつもりでも、いざ取り組もうとしたときに自分の理解のなさがっかりしてしまいます…繰り返し取り組むことで慣れるとは思いますが、前に進む前に足踏みしている自分です。
- ・単元シートの作成と活用。
- ・個別の指導計画と評価の関連付け。
- ・先生方が負担感を感じることなく、子供たちの成長につながる取組みができる研究を希望します。
- ・具体的に単元シートをどのように工夫して活用すると、評価へつなげやすくなるのか、取り組んでみたいと思います。
- ・学習評価に関する実践的な理解とTT間での共通認識。
- ・評価の規準の共有。

■中学部

- ・当たり前のことではありますが、日々の授業についてTT間で話し合いを持つことや、児童生徒の情報を共通理解して、常に話し合える空気を漂わせておくこと。
- ・日々使う物はシンプルなものに限ると思うので、単元シートはシンプルにしてほしい。
- ・4月頃に行なってほしい。
- ・「研究すること」が日常の指導において特別なこと(今は研究なんだ)にならず、当たり前の感覚で進められること(いつもしてるこの部分が研究にリンクしてるんだ)という捉え方ができるようになりたいなと思います。
- ・学年学級の生徒の、個別の指導計画の共通理解や、単元ごとの個別の目標や課題についての確認と共通理解。
- ・目標設定から学習評価まで見通して単元シートを作成するために、生徒の実態をつかんで知的好奇心をくすぐる面白い授業を考えることができるよう、学んでいきたいです。
- ・環境整備や授業の作り方など、初歩的な事も必要かと思います。
- ・指導案の書き方。
- ・実践に取り組んだ後に負担感よりも充実感を感じていただけるようにしたいと思います。
- ・学習評価を単元シートにどうつなげるのか、と個別の指導計画の育てたい力、手立て、評価とのつながり、つなげ方について。
- ・効率良い指導評価の方法

■ 高等部

- ・ばたばたしない時期に焦らないで話し合う・・・多忙中なので難しいけれど、何か追われている感じになると考えられなくなる自分がいまして。すみません。
- ・教員間の連携、共通理解。
- ・話を聞いていて内容を理解するのに時間が掛かり、出遅れている不安があるがついて行けるように勉強していきたい。
- ・自立活動について。生徒一人一人の具体的な支援方法の情報共有がしたいと考えているため
- ・授業へのICT機器の有効活用方法の実践例の紹介について。
- ・上記とはずれるかもしれませんが、現在の単元シートや個別の指導計画では、1人分を作成するための時間が莫大です。成果との相対効果の検証があれば良いと思う。
- ・生徒の実態把握。多様な学びの支援。
- ・単元の目標設定や個人目標の設定などについては実態を踏まえて取り組まなくてはなりませんが、その取り組みを実施する上で、日常のクラス経営さえも重視されると思っています。情報の共有や把握は当たり前のように口にはしているが、実際、問題行動のある生徒に対して担当者の抱えるものが大きい。そこで、教員間の連携がとても大きいのに、連携を取りながら・・・ということが当たり前なはずなのに連携が取れていないクラスもある。人間同士のコミュニケーションを図ることが難しい時代ではあるが、自分の担当だからと言って、一人で困ってしまう教員もいる。校内研究にはズレたことを記入していますが、教員間の連携の必要性を改めて考えることも必要なのではないかと思い記入しました。
- ・校内研究に多くの先生方が主体的に取り組むことができるような仕掛けを準備できるように頑張りましょう。そして、先生方の取組や気付きを研究に生かしていきたいですね。
- ・多くの指導方法、接し方、教育感を様々な意見から取り入れたい。
- ・生徒の実態に即した教育課程。
- ・学部ごとにやらなければならないことが違うと思うが、優先順位がよく分からない。
- ・校内研究を深める上で、考えたり話し合ったりする時間がもっとほしいです。
- ・指導法等の共有化(学部間含む)。
- ・校内研で大切なことは、みんなで取り組めるもの。みんなに分かりやすいもの。児童生徒に還元できるもの。
- ・時間の確保。
- ・より活用しやすい単元シート。
- ・目標にせまるの実践事例の累積があれば、目標達成へのイメージが掴めるのかな？
- ・効果的な学習評価の仕方をより具体的に教えてほしいです。
- ・日々の記録。
- ・単元・授業シートの簡素化。
- ・単元シートの活用例や記入例を具体的に知りたいです。
- ・学校教育目標にある目指す児童生徒像を実現する支援をシンプルに提示していただいた上で、研究との相関を示していただけると更に深まるのではないかと思います。

【全体考察】

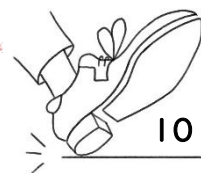
①～③の設問において、どれも昨年度の数値を上回っていることから、先生方の授業作りに対する意識が高まっていることが分かります。学習評価や教員間の共有において高い水準にあるものの、自由記述から更に学習評価や教員間での共有を行いたい意識が分かります。また、学部によって授業形態の違いから、課題点が違うのも面白いですね。単元シートは、よりよい授業作りや学習評価のための手段として使いやすい形式で活用できればと思います。皆さんと一緒に考えていければ幸いです。

アンケートへの御協力、本当にありがとうございました。



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年9月12日発行 文責：高清水



10 歩目

～ 誇れるのは、いつもの授業 ～

9月6日(火)に行われた指導主事学校訪問。各学部で日頃の実践が生きた授業を見ていただきました。普段通り「児童生徒が主役」という思いが強く伝わる授業になったと感じます。夏休み中から学習指導案の作成に取り組み、授業準備に携わった先生方、それを支えた先生方に頭が下がります。お疲れ様でした。

今回は各学部の授業の様子を紹介します。(波線部は学習評価に大きく関わると感じた部分です。)



小学部：遊びの指導「劇遊びをしよう」

実態を考慮して個の目標を細分化し、簡単な図で表したものをアイコンとして活用していました。黒板に明示するだけでなく、児童の肩のところにも表示する工夫があり、指導する教師が目標を意識して授業を進めることが可能になる方法だと感じます。7月の研修で話し合ったアイデアを早速実践につなげていただきました。終結場面では、進んで感想発表をしたり、友達の発表を注視して聞いたりする姿が見られ、児童にとって充実感のある授業だったことがうかがえました。



中学部：生活単元学習「利府へ泊まりに行こう」

宿泊学習に向けた事前学習の小単元でした。配膳された食器を自分で席まで運ぶ練習に全員が取り組みました。充実した視覚支援を受けながら、しっかりと見通しを持って学習を進めることができていました。配膳の様子はタブレット端末で撮影し画面で共有することで、生徒は友達の活動に興味を持つことができ、良い点に気付くことも可能になります。教師は他の生徒の支援をしながらも画面で個々の活用を把握することができ、互いに評価を検討することが可能になると感じました。



高等部：作業学習「一連の作業に取り組もう」

農芸班で播種(種まき)と土入れの作業を行いました。作業に必要な準備物や手順を明記したカードを使って、自分達で確認したり分担したりしながら作業が進むよう支援をしていました。情緒の安定にも配慮し、前時までの到達度をしっかりと把握して本時の指導を行っていると感じました。

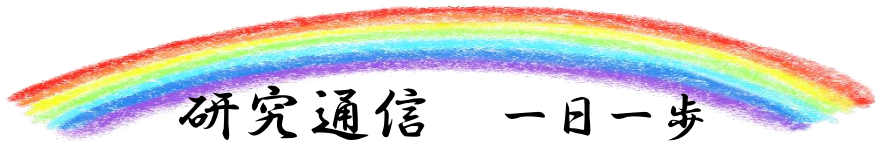


「学びに向かう力・人間性等」についても評価と児童生徒へのフィードバックが行われていました。授業中の行動観察、発言や表情の丁寧な見取りによって、即時に評価を伝えることは、意欲や自信を高め、次の活動に向かう力になりますね。

授業をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。

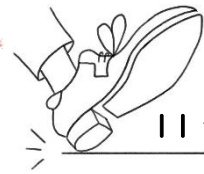
単元シートは「研究部→00実践の共有→00原本」に入っています。ワードとエクセルの様式がありますので、使いやすい方を御活用下さい。また、作成したシートは、各学部のフォルダに保存してください。





研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年10月25日発行



～ 全校授業研究(小学部) ～

10月13日(木)に小学部校内研究授業が行われました。今回は全学部での参観となり、小学部1年生の授業を見ていただきました。1年生の生き生きとした姿から、「まさに遊び!」という感じが強く伝わる授業だったと思います。お忙しい中、単元シート作成に取り組み、授業準備に携わった先生方、それを支えた先生方、本当にお疲れ様でした。参観いただいた先生方もありがとうございました。お寄せいただいた感想カードの中から一部を抜粋して紹介します。



一人一人の遊びに応じた支援の共通理解

- 参観者に自慢するように遊んでいて、本当にうらやましくなるほど楽しそうでした。
- 単元シートで児童に対する「こんな様子で遊んでほしい」が共通理解されていて、それが授業の中での「支援の統一」に生かされていたのでは、と思いました。
- 本時における児童の目指す姿がまさに見られたり、子どもによっては一歩進んでいたり、遊びを広げていたりして、単元シート作成時の先生方の予想を上回ったのだと思いました。

- 単元シート(授業シート)が秀逸だと思いました。ねらいがすっきりとしていて分かりやすく、なぜ、このような活動をするのか学習活動との関連に納得。
- 小学部1年生なのにここまで育てていることにびっくりです。ビニールプールに新聞紙をいっぱい入れておく場を作るのはどうでしょう。
- 片付けの頃には力つきていた男の子もいて、本当にしっかり遊んだな!と思いました。先生方の工夫と一緒に遊んだ楽しさで目標が達成されていたと思いました。



遊びに変化を付ける教材の提示

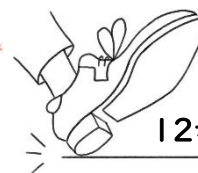
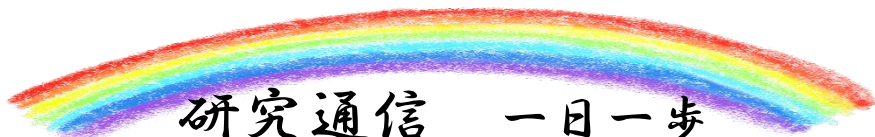


片付けまでが遊び

- 一通り感触を味わったら強い風で次の盛り上がりを作り、次第に個別で自分なりの遊び方を見つけていく。そこに教師が寄り添うという変化があり、すごいなと思いました。
- 子供の自発的な行動がいっぱいあったので、それを拾って教師が全員で模倣、更に他児へも広げられるような場面もあっていいなと思いました。

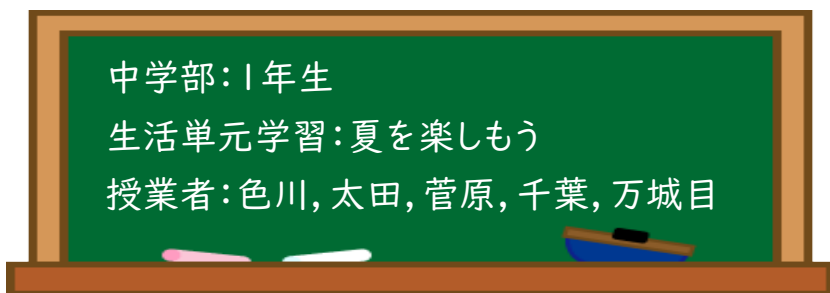
単元シートは「研究部→00実践の共有→00原本」に入っています。ワードとエクセルの様式がありますので、使いやすい方を御活用下さい。また、作成した単元シートは、各学部のフォルダに保存してください。



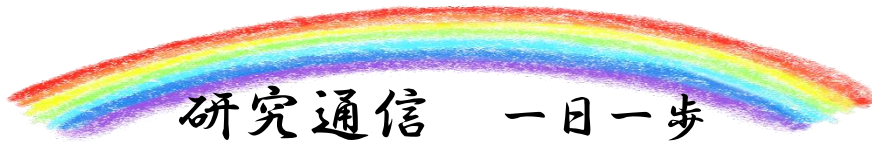


＝授業実践ハイライト＝

提供していただいた授業を共有させていただこうと思います。単元・授業シートの内容を動画に埋め込み、ハイライトでお送りします。内容、是非ご確認ください。(^^)

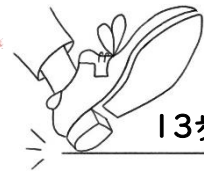


※上記のアイコンを ctrl+クリックすると、データのフォルダに飛びます。



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年11月30日発行 文責:後藤



13歩目

～中学部研究授業 3年生 生活単元学習「卒業制作をしよう」事前検討会～

12月2日(金)の中学部研究授業に向けて事前検討会を行いました。検討会の内容をお知らせします。

単元の計画と本時の展開について(授業者)

齋藤光先生より、作成した単元シートと授業シートについて説明していただきました。

①単元について

- ・卒業制作で時計を制作すること。
- ・プログラミングのアンプラグドの実践であること。

②授業シートについて

- ・本時は時計の枠にタイルで装飾したり絵の具で描いたりする活動であること。



単元について検討する中学部の先生方

質疑・応答

Q: 個別の目標の欄について。◎の数で単元の目標が達成できたかどうか本当に分かるか疑問。育成を目指す資質・能力の方は分かるかもしれないが…

A: 個別の段階が詳しく見えた方が良く考えてこのスタイルにした。この単元が終わって次にまた目標を設定するときの参考になる。

Q: 「卒業制作をしよう」で卒業について触れるのが1時間目のみ。単元目標(卒業への意識をもつ。)を達成できるか。

A: 単元の最後の時間にも卒業や時計を制作する意味について触れたい。

Q: タイルグループと絵の具グループのどちらかに分けるのはもったいない。全員にタイルでデザインを考える機会を作るのもよいのでは。

A: 本時の活動を充実させるのに有効。そのようにしたい。

Q: 絵の具については「着彩用具の紹介カード」がある。ガラススタイルにもあるとよい。

A: 実際のタイルを色ごとに見せたい。

Q: タイルを置いて構想を考えられる生徒だけではない。「自分でどんどん貼り付けたい！」という生徒もいると思うが。

A: 「本時」はタイルの配置を試す時間である。すぐに貼るのではなく、試したり考えたりするのも学習と考える。

Q: 単元シートについて。7・8時間目がもう少し具体的に書かれているとよい。

※検討会を受けてバージョンアップしたシートは、掲示板にて共有します。

単元の目標の達成や「育成を目指す主な教科等の資質・能力」の育成につながる話合いになりました。

また、上記の他に、今回作成した単元シートについて
「個別の目標の欄が見やすい。それぞれの「知」「思」「主」をどの時間に評価するのが読み取れます。」

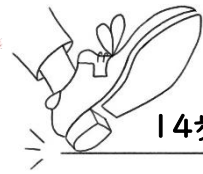
というご意見もいただきました。中学部の先生方、ありがとうございました！

実践は12月2日(金)3校時です！当日の授業もお楽しみに！



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年12月7日発行 文責：高清水



14歩目

～全校研究授業(高等部)～

11月14日(月)に全校研究授業を高等部3学年で実践しました。A課程では自立活動の授業でボウリングやストラッグアウトに取り組み、BC課程では器械運動(マット運動)に取り組みました。今回も学部の枠を超えて多くの先生方が参観し、色々な感想をいただきました。一部を紹介しながら、授業実践を振り返ってみます。

★授業の内容は、「研究部→00実践の共有→3高等部→3年保健体育」にあります。

A課程

- ボウリングは生徒個々の気持ちに寄り添うものだった。繰り返す中で、ボールを蹴っていた生徒が手で転がして倒す本数が増えていったのは印象的だった。改めて、自発的な動きを待つ大切さを実感した。
- 体を動かす活動を中心にしながら、参観に来た先生方との関わりも盛り込まれ、実生活に即した自立活動になっていた。
- 生徒が先生に注目して挨拶したり、課題に取り組んだりしている姿が良かった。信頼関係が良い。



単元シートで単元の位置付けや個々の目標が分かり、授業シートで本時の流れも分かりやすかった。

BC課程



- C: 補助運動が目標とする開脚前転のためのスモールステップになっているのが良かった。発表に向けて、自分で考えてワークシートに記入するという活動が、目標達成につながると感じた。
- C: 生徒の運動量が確保されていた。実技教科では大事なことだと思う。
- C: マットを生徒達が声を掛け合いながら準備している姿に、指導の積み重ねを感じ、卒業後の姿を感じることができた。
- B: 自分の順番が終わったら列に戻る事ができていて、日頃からの規律ができていたと感じた。挑戦したい技ごとに並んでいて分かりやすかった。

B: 自分の課題を自分で選んで取り組むと、その後の自己評価につながるのではないかと思った。

○同じ場で二つの授業だったが、指示が明確で伝わりやすい。「左を見て」ではなく、「ステージを見て」など

▲足首や足の裏で踏ん張る動作が難しい生徒が結構いると思った。そういった、個々の気になる体の使い方への助言や支援も必要かもしれない。

▲授業の実践時期が長く、目標や身に付けた技能を維持するのが難しいと感じた。まとめて実践できると良いと思った。

全体として…

・器械運動はけがにつながるし、生徒の運動経験ができるかどうかにか結びつく。恐怖心を取り除く工夫もしなければならない。補助の仕方や補助教材の工夫、動画の活用などで意識の高まりや挑戦しようとするなど変化が見られるようになる。

児童生徒の授業体制を調整の上、参観いただき、本当にありがとうございます。積極的に学ぼうとする私達の姿勢がより良い授業につながります。



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年12月13日発行 文責:高清水

15歩目

～研究授業(高等部)～



11月22日(火)に高等部1学年で音楽の研究授業を
実践していただきました。学部内での参観でしたが、多く
の先生方に感想をいただきましたので、一部をご紹介し
たいと思います。(○良い点 ◆助言など)



○音楽に合わせて、体を使う活動でA～C課程みんなが
楽しめる展開だと感じた。

○はじめの挨拶やルールの徹底も図られており、「これか
ら授業だぞ。」とメリハリががついていた。

○動画教材で見る物を分かりやすく、「ああ、そうするのか。」が分かりやすいと思いました。音楽は先生が楽しそうに授業する
ると子供の表現も広がりますね。

○TT間の連携がしっかりとできていて、分かりやすい授業だった。授業を進める先生と見本を見せる先生がいることで、認
知の低い生徒も誰を見て活動するのかが分かり、安心しますね。事前の準備が見事です。

○学習活動は、身近な言葉をリズムにして取り組みやすくして、音楽に移行していて良かったです。言葉のリズムから入るこ
とで、国語の学習にもつながる、横断的な内容になっていると感じました。

○鑑賞テーマの曲にちなんだ先生のエピソードは生徒にとって、その音楽にも親しみをもてるきっかけになると思いました。

○◆授業は鑑賞で教師のデッサンを見せているところでした。デッサンの写真でなく本物が目の前にあるのはインパクトが
あると思いました。ただ、ABCという幅広い(広すぎる)実態の生徒で(まして後ろの生徒は絵からの距離が…)同じよう
に提示されていたのは、もったいなかったです。後ろの生徒にも近づくとかあっても良かったのでは…と思いました。

◆しゃがむ動きもあったので机を移動して広いスペースで行うのもアリです。

◆食べ物の名前とリズム合わせての指導は生徒にとって一番分かりやすい方法だと思う。手拍子で「ぶどう」や「ハーゲン
ダッツ」などでリズムをたたくところまでしか見ていませんが、文章にしても覚えられると思います。「シューマイ食べたい」
「マカロンおいしい」など①ゆっくりテンポでリズム打ち練習→②少し早いテンポで→③曲のテンポで、など。

◆「表現→先生の話」という流れが同じだったので(受け身)、「表現→生徒の抽出」で良い表現の共有、「表現→生徒の
感想の表現」などの流れがあると、アクティブ・ラーニングになります。一曲を通して→知識・技能を身に付けさせたいポイ
ントに細分化する方法もあると思います。

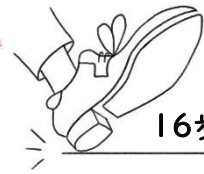
◆音の長さをもう少し説明するとボディパーカッションの時の譜面がもっと読みやすく(参加しやすく)なったと思います。

◆単元構成も年間を通じて12時間なので(単元シートの個別の目標も年間で一つ、ということなのでしょう)生徒が何
を学ぶのか厳選が必要になると思いました。(高等部はつらいですね)

◆年間通して「高校1年生」がテーマと決まっているのでしょうか?学習でボディパーカッションを題材にしている授業だっ
たので、それに合わせても良かったのかな…と思いました。

◆シートは今までの指導案がシンプルで使いやすかったなので、それに戻してほしい。このシートを作成するには大変時間がか
かる。その分を他の授業準備に使いたい。本単元の個別の目標は指導計画で既に立てているので、それで良いのでは
ないか。

研究通信 一日一歩



16歩目

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年12月14日発行 文責:高清水



～研究授業(高等部)～



11月22日(火)に高等部2学年で生活単元学習の授業実践をしていただきました。単元名は「旅行の計画を立てよう」。将来2泊3日の旅で、大阪と東京に行くことを想定し、計画を立てる学習を行いました。それぞれの課程ごとに調べた内容を発表した研究授業に寄せられた感想をご紹介します。また、実践した学年の事後検討会での話題も一部御紹介します。

(○良い点 ◆助言など)



《感想》

○テンポ良く進めていたので、生徒もよく話を聞いてTVを見ていたと思います。

◆授業開始～15分間、生徒の活動がないので評価も難しいと思いました。本時の目標「自分からやろうとする場面」(後半にあったのでしょうか)を設定して一人一人を評価したい(励ましたい)と思いました。

《事後検討会での話題》

○ご当地グルメや見学体験する観光スポット、アトラクションなどについて、興味あるものを選び、分担して調べるなど、どの生徒も意欲的に取り組むことができた。

○iPad やカラーマップなどの資料を活用して、必要な情報を検索し、まとめることができた。

○ICT を活用して段階を踏んで、授業を組み立てることができた。観光スポット、ご当地グルメの動画やホームページなどを見たり、2つの写真から自分が好む方を選んだり、観光コースの写真を台紙に貼ってまとめたりして、乗り物や珍しいものに興味・関心を持って、期待感を持って、発表や授業に意欲的に参加する様子がほとんどの生徒に見られた。

○◆今回は、時数の関係で、移動手段や宿泊先などについては教師側で決め、実際に調べる内容を絞って提示しての活動とした。「どのように移動する」「どこに泊まる」などを含めた「旅行の全体像を自ら立案する」には至らなかった。しかしながら、間口を絞ったことで、より一層集中して調べ学習に取り組めたのではないかと考える。



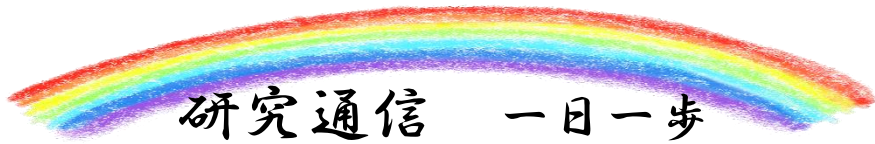
おかげさまで、先生方全員が一実践に参加していただき、今年度の実践目標を達成することができました。ありがとうございました。さて、今年度の研究テーマは以下の通りです。

各教科等の資質・能力の育成を目指した学習評価の充実

— 目標設定から学習評価までを見通して作成する単元シートの活用を通して —

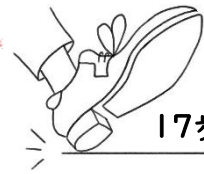
色々な工夫をしながら取り組んでいただいた貴重な実践です。単元シートを活用して児童生徒の評価までしっかりと記録して保管しておきたいと思います。記入が終わりましたら「研究部→00実践の共有」から各学部のフォルダに保存してください。よろしくお願いいたします。

後期のアンケート調査を実施中です。12月16日(金)メ切と
していますので、御協力をよろしくお願いいたします。



研究通信 一日一歩

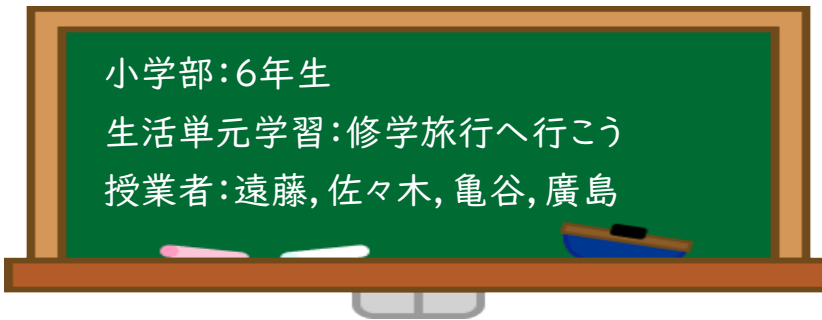
宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年12月27日発行 文責:富士原



17歩目

＝授業実践ハイライト＝

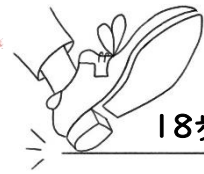
提供していただいた授業を共有させていただこうと思います。単元・授業シートの内容を動画に埋め込み、ハイライトでお送りします。内容,是非ご確認ください。(^o^)



※上記のアイコンを ctrl+クリックすると、データのフォルダに飛びます。

研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和4年12月27日発行 文責:後藤



18歩目

～中学部研究授業 3年生 生活単元学習「卒業制作をしよう」事後検討会～

中学部では、12月2日に研究授業を、12月13日に事後検討会を行いました。授業の様子と検討会で話し合われた内容をお知らせいたします。

授業

「卒業制作をしよう」の7時間目の授業です。時計のフレームに着彩したり、ガラスタイルを貼り付けたりして制作しました。生徒たちは自分が練ったアイデアスケッチを基にして、絵の具の表現方法や貼るガラスタイルの色を吟味していました。



事後検討会

齋藤光先生から自評をいただき、2グループに分かれてワークショップ形式で事後検討会を行いました。たくさんの意見が出されましたので、話し合われた内容の一部を御紹介します。

視点1：学習評価の充実について

<成果>

- ・単元シートの形式（縦書き）が観点別に評価や手立てをまとめたり、個人の段階を概観したりしやすい。
- ・単元の評価につながりやすい。
- ・個々を評価する上で目標に対してどうだったかも評価しやすい。

<改善点>

- ・目指す資質・能力の⑥について文面としてあるが、個別の目標に⑥の観点が出てこない。目標が偏ってしまうように感じる。→「題材シート」として作成、活用するとすっきりする。
- ・卒業への意識を持つという目標を達成するために、単元のまとめの時間だけでなく、時々触れるとよい。
- ・単元シートの形式は、個別の目標などを把握するにはよいが、見やすさとしてはどうか。
- ・アイデアスケッチを見て制作することが難しい生徒の場合、そのときのイメージで制作してもよいのでは。

視点2：その他

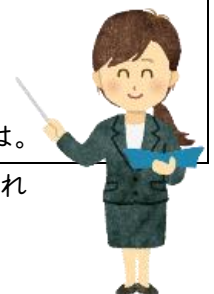
<成果>

- ・アイデアスケッチの利用が素晴らしいと思った。目標（イメージ）に向かって自分が行う（飾り）ことが見えていることも意欲や自分から取り組むことにつながっていると思った。
- ・アイデアスケッチに教師と相談したり、やりとりしたりしたことが書いてあることも、生徒にとっては制作の手掛かりとして、教師は手立てや評価として役立つ。
- ・一人一人の授業の様子から「進んで」「楽しく」「主体的に」制作活動に取り組んでいたことが伝わってきた。
- ・いろいろな道具や技法など、これまでの経験が生きている。

<課題>

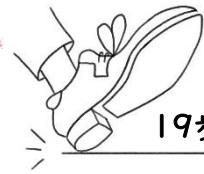
- ・アイデアスケッチに貼る素材は、実際のもの（ガラスタイル）の写真などにするとよいのでは。

単元シートを活用した評価の仕方やアイデアスケッチの活用について、たくさんの意見が出されました。中学部の先生方、ありがとうございました！



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和5年1月6日発行 文責:後藤



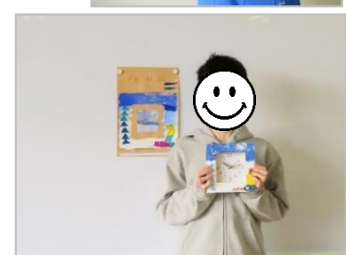
19歩目

～中学部研究授業 3年生 生活単元学習「卒業制作をしよう」～

感想 12月2日の研究授業では、たくさんの先生方に参観していただくことができました。

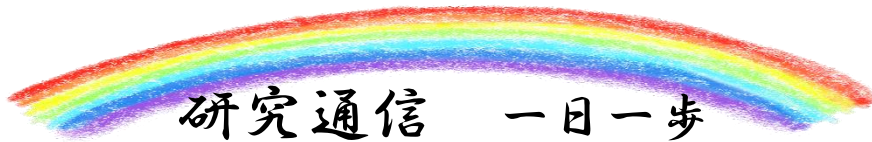
先生方からいただいた感想をご紹介します。

- ・プログラミング学習ということで、どんな感じでねらいに迫っていくのか、本当ははじめから終わりまで見たかったです。でも作品作りの3分程度拝見することができ、先生方と一緒に生徒たちが一緒に懸命取り組んでいる様子が見られて、とてもいい授業だと感じました。
- ・普段の授業にプログラミング的思考の育成を無理なくねらった素晴らしい授業だと感じました。色を塗るときの手掛かり(用具や線の太さなどの情報)もあって、子どもが取り組みやすくなると思いました。
- ・最初の説明が短く、生徒の活動が十分に確保されていると思いました。
- ・CH君が入ってきて周り確かめ、みんなの中で学習に参加していました。そのくらい場の設定が分かりやすいものになっていたのだと思います。
- ・高等部のTVで参観しました。中3ということもあって、元担任に実態について質問があるなど、実態を知る機会にもなっていました。貴重な時間ですね。
- ・プログラミングと制作は“アルゴリズム”という点で相性がいいと思います。一方、できた作品は最初のゴールと違っていいので、その際の思考を整理したいと思いました。
- ・一人一人のアイデアスケッチを紹介しながら、フレームとともに配っているところを参観しました。生徒たちがしっかりTIを見て話を聞いて素晴らしいと思いました。作業ごとに分けられた場設、手立て、段階、評価の表もうまく工夫されていると思いました。
- ・しっとりと落ち着いた授業でした。CH君の参加しているところも見られてよかったです。
- ・アイデアスケッチをもとに、フレーム作りをするなんて、さすが中学部!!です。着彩用具の紹介カードも、何を使うとどういう結果が得られるのか大変分かりやすく示されていました。一人一人の個性を大切にしている先生方の姿が印象的でした。世界に一つだけの素敵なフレームが出来上がりましたね。
- ・CH君も入っての活動で、生徒の実態を見ることもできて参考になりました。オリジナルの時計作りも生徒が意欲的に取り組んでいる様子で、題材も良いと思いました。廊下に掲示してあった作品も素晴らしかったです。向き合っの作業方法だけ少し気になりました。(コロナ対応)



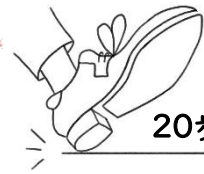
・「卒業」ということを意識し、どんな作品を作るか楽しんで取り組む姿がとても良かったです。

20号に続く



研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和5年1月10日発行 文責：後藤



20歩目

～中学部研究授業 3年生 生活単元学習「卒業制作をしよう」～

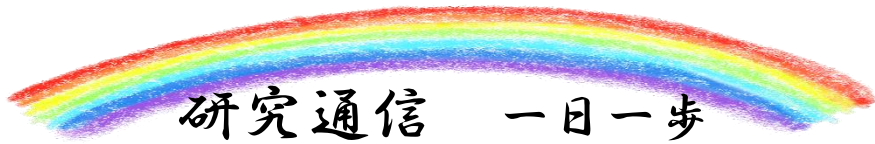
感想のつづき

- ・中学部の生徒たちが楽しそうに、一生懸命取り組む姿を参考にできました。様子が分かり、よかったです。
- ・単元シートに目標だけでなく、手立ても記入しており、先生方が実態に合わせた支援をしっかり準備して授業に臨もうとしていることが分かりました。情報量はあるのに見やすく、評価まで(段階も分かるので引継ぎにも有効)記入できる様式になっていると感じました。
- ・参観したのはそれぞれにタイルや絵の具で装飾する場面でした。どうしたいのかが分かるプリントがあるので、先生方も支援しやすく、生徒もガイドにしながら、でもそこにしぼられすぎずに安心して活動できていたと思います。ボンドの付け方は、高等部でも難しい生徒がいて、教師がしぼってあげる、紙に出して少し付けるなど、いろいろなサポートの仕方を学びました。
- ・生き生きとした生徒の姿が見られたのは、場設が整っていたからだと思います。集中力も続くような言葉掛けが丁寧でした。
- ・昨年度の担任としてAK君,CH君が落ち着いて授業に取り組んでいる姿を見ることができて嬉しかったです。これまでの支援の成果が静かに深く伝わってきました。
- ・授業を拝見させていただいて、第一印象は、落ち着いて熱中して活動しているなという印象です。そこには、これまでの学習が積み重なり、しっかりと見通しを持って活動できている証拠だと思います。授業が始まる前には、きちんと教具や場設、子ども達が選びやすい環境調整ができていて、とても参考になりました!
- ・それぞれが作った「アイデアスケッチ」、すてきでした。小6,中1とガラススタイルを使った制作活動に取り組んだことがありますが、それぞれステップアップしていて、今回もさらにステップアップしているなあと感じました。落ち着いているあの子ども達の姿にとっても成長を感じました。すてきな卒業制作の作品ができあがりますね。



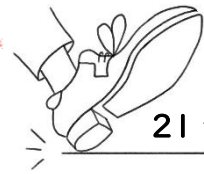
先生方の温かい感想から、小学部から高等部までの学びの連続性を改めて実感しました。たくさんの感想をありがとうございました。





研究通信 一日一歩

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和5年1月18日発行

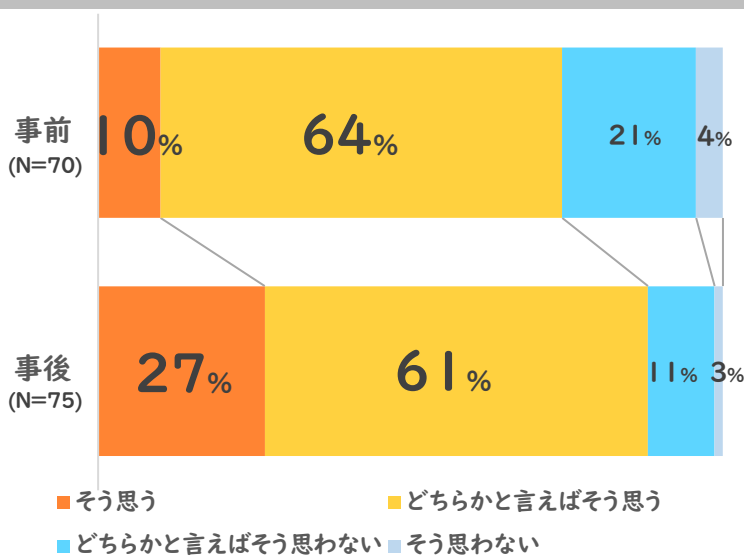


～ 意識調査の結果の報告 その1～

今年度の2回の調査結果を全学部間で比較しました。校内研究の意識調査への御協力、ありがとうございました。



単元の指導をする中で、児童生徒の目標や手立てを踏まえ、学びの姿や配慮事項を記録している



2回の調査を比較すると、肯定的な回答が増え、全体の9割を占めました。



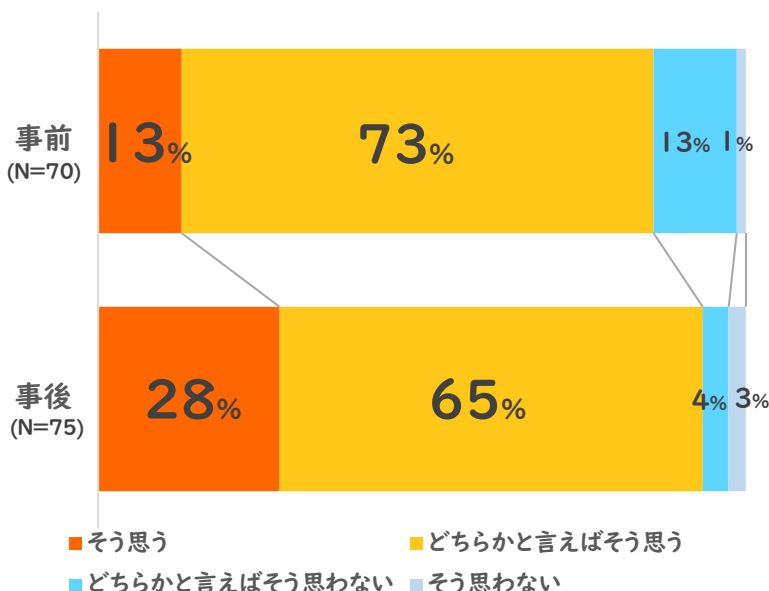
「単元や授業の目標、評価を意識することが今年度の研究を通して向上したように思う。」



「単元シートを用いて個別目標の評価を丁寧に行うことで、単元途中での個別目標の見直しや、教員間での共有を行うことができました。また、学習を重ねて行く中での児童の姿の変化も感じることができました。」



児童生徒一人ひとりの学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価(何が身に付いたか)をしている



2回の調査を比較すると、肯定的な回答が増え、全体の9割以上を占めました。



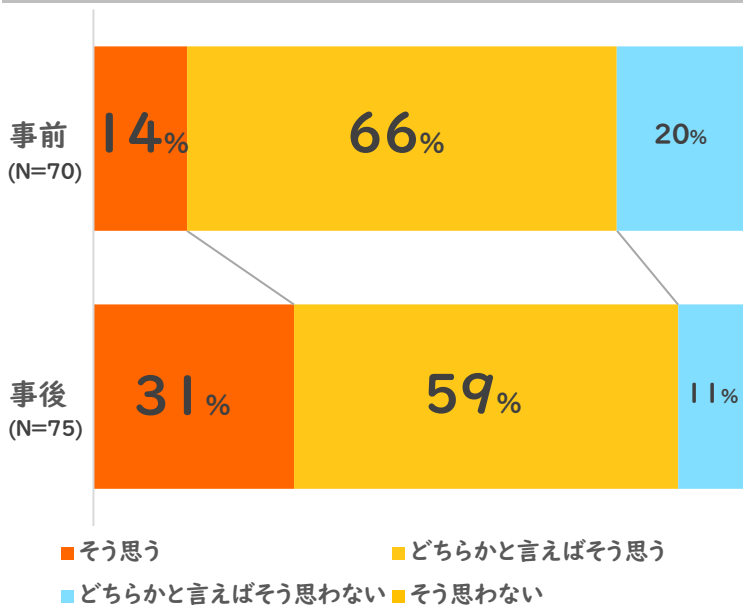
「改めて評価と反省にフォーカスした研究主題を設定されたことにより、やりっぱなしの授業にならず、教科としての取り組みと評価を意識することができた。」



「もう少し、学習評価について学年で話し合う時間が取れたらよかった。今年度、実践して良い評価の方法をみんなで取り組めると良いと思います。」



児童生徒の学びの姿や学習評価を踏まえた上で、単元の指導についての反省を教員間で共有している



2回の調査を比較すると、肯定的な回答が増え、全体の約9割を占めました。



「学年では、学習前後に単元シートで目標の確認や評価、反省を共有し、活用することができた。」



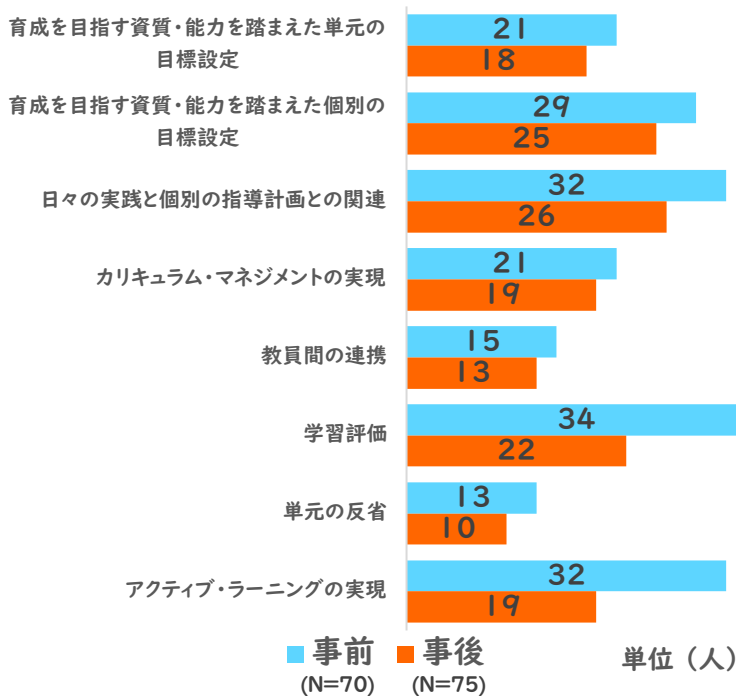
「単元シートの使用により学部や学年を越えたつながり持つことができたと思います。」



「研修の日の内容を検討会などに振り替えたことがあったので、そこを学習評価の日として学年の反省記入の時間などに充ててもいいのかなと感じました。」



授業を行う上で不安を感じている内容があれば選択肢を✓(チェック)してください



2回の調査を比較すると、全ての項目で不安を感じているとの回答が減りました。



「学習評価をより意識して児童の個別の目標を立てることで、伸ばしたい力を具体的に考えて一人一人の力を伸ばすことができた。」



「授業を行う上での不安や心配がなく実践することができた。」

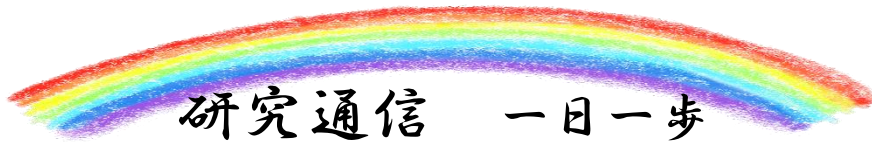


「学部の枠を超えて参観していただく機会でしたが、他学部の先生方の参観が少なく、御意見や御指導をいただきたいかった。」

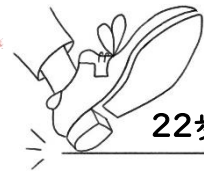


「全校授業研について、実施日の調整を早めに行い、事前に共有できるようにする、参観体制について、学部内できちんと調整・共通理解を図るなどをしてもいいのではないか。」

その2に続きます



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和5年1月18日発行



～ 意識調査の結果と考察の報告 その2～

前回に引き続き、意識調査の自由記述の結果と考察です。校内研究の意識調査への御協力、ありがとうございます。

【小学部】

- 授業ごとに単元シートを活用することが定着したと感じる。また、教科を意識して授業を構成する手順も踏めるようになってきていると思う。しかし、教科の目標と実際にやりたい指導内容とうまく合致しないことがあり、その成功例？工夫例？を学年を超えて共有できるといいなと思った。
- 評価の蓄積に難しさを感じる。
- 特にありません
- 手探りだったが、研修会や研究部の先生方からのアドバイスを受けながら、訪問学級の児童一人を対象とした単元シートを作成することができたのは大きな収穫だった。在籍が複数名になった場合の単元シートの在り方についても、今後検討が必要である。
- 授業を行う上での不安や心配がなく実践することができた。
- 単元シートを日常的に作るようになりました。
- 同じ学部の取り組みはもちろんですが、他学部の授業の様子を見られたことで、指導しなければいけないことなどの見通しが持てました。
- 学習評価をより意識して児童の個別の目標を立てることで、伸ばしたい力を具体的に考えて一人一人の力を伸ばすことができた。また教員間で共有して主担当以外も指導することができた。
- 全校研の単元シート授業シートの作成を通して一つの単元に焦点を当て研修を深めることができました。
- 自分自身の反省です。もう少し、学習評価について学年で話し合う時間が取れたらよかった。今年度、実践して良い評価の方法をみんなで取り組めると良いと思います。
- 全校授業研について
『重点目標実現の具体策』として掲げられている、ある意味今年度の研究の推しだったと思う。実施に向けて計画的に推進していければ、さらに良かったのでは。
ex)・実施日の調整を早めに行い、事前に共有できるようにする。
・参観体制について、学部内できちんと調整・共通理解を図る。などなど
- 先生方、本当に積極的に、進んでシートを活用した学習に取り組んでいると感じる。本当にありがとうございます。
- 授業研を行う中で、学年間で教材教具の開発を行った。そのような時間を多くしていきたい。
- 他の先生方の授業をたくさん見ることができて勉強になった。
- 今年度は初任研があり、一緒に授業をしながら学び合うことができました。
- 単元シート作成の過程で、学年で話し合う中で、目標や子供の姿を共有できたことが、良かった。ただ、単元シート15時間扱いなどの場合、単元シートA3 1枚に収めるのが難しかった。
- あらためて「評価」「反省」にフォーカスした研究主題を設定されたことにより、「やりっぱなしの授業」にならず、「教科としての取り組みと評価」を意識することができた。
- みんなで各学部の授業を見合える場があって勉強になりました。

- 単元シートを用いて個別目標の評価を丁寧に行うことで、単元途中での個別目標の見直しや、教員間での共有を行うことができました。また、学習を重ねて行く中での児童の姿の変化も感じることができました。
- チームでの授業作りができて、一人一人の負担感が軽減されているのではと感じた。
- 学習評価を意識した単元シートの作成は、児童生徒の一人一人の目標を具現化する一助となった。
- 小学部代表で研究授業を提供した。学部を超えて参観していただく機会でしたが、他学部の先生方の参観が少なく、御意見や御指導をいただきたかった。
- 他学部の授業を初めて見るのができて、すごくよかった。
- 日々の指導に簡単に生かしていくことができてよかったです。
- 学年では、学習前後に単元シートで目標の確認や評価、反省を共有し、活用することができた。
- 今年度途中から来たため、意見を申し上げるのは難しいです。申し訳ありません。
- 単元シートの活用方法を学年毎に工夫できてよかったので、それを年度内に全学部で共有（までいかななくてもお知らせ程度）する機会があっても良かったのではないかと思います。研修の日の内容を他の検討会などに振り替えたことがあったので、そこを学習評価の日として単元シートの反省記入の時間などに充ててもいいのかなと感じました。小学部の全校授業研を中学部の先生方がビデオで全員見てくださったことをアナウンスするべきであったと反省しました。

【中学部】

- 校内実践を幾つか参観させていただき、とても学びを得ることができました。学部の垣根を越えて参観することができ、とても新鮮でした。来年度も引き続き、学部を超えた参観ができればいいのではないかと感じました。
- 学部間の研究授業を参観する時間を確保することが、生徒や学級の実態によっては難しかったです。学級や学部内でやりくりしていますが、それでも参観する時間がもっと確保できたらいいと思っています。他の学部の授業をたくさん参観させていただきたいです。小から中に進級してくる課程で、子供たちの成長過程を日々の授業から感じてみたいです。
- 今年度は、評価についての研究だったと思うのですが、授業研では、授業の仕方について検討することがほとんどでした。評価については、いつ検討するのかなと思いました。
- 研究部の先生方が率先して行動しており、ありがたかったです。
- 石巻支援学校で行う特別支援の基礎を固めるために、構造化へ向けた環境整備や、教師が視覚的教材を作成するためのインプット・アウトプットについての勉強を進める必要もあるかと思います。
- 先生方が日頃から単元シートを活用して授業の話し合いをしています。
- 単元ごとに生徒の目標を立て、手立てを工夫して評価することの大切さは重々承知している。しかし、できないでいる。単元シートはそのためのツールとして良いと思う。必ずやるという意識の変革が必要。
- 参観だと少ししか見れないので、他学部や他学年の授業の参観を、放課後録画で見れたことは良かった。
- 単元シートをどの学部も活用して研究授業を行っており、流れができていて良かった。
- 研究部の皆さんのおかげでとても充実した校内研究の内容で、勉強になりました。
- 単元シートの形式がよりよいものへと改善されてきていると感じます。単元シートから題材シートのように変更ができると、合わせた指導なのか、教科指導なのかははっきりし、余分なねらい、3観点の項目などが削ぎ落とされてすっきりして、さらによくなるのかな、なんて感じています。
- 他学部の実践を参観する機会が得られました。
- 学部では時間を決めて集合し、実践のビデオを観ました。ざっくばらんに意見を交わすのも良かったです。
- 日々時間に追われ、授業の準備もままならない中、実際に単元シートを活用して授業をしなければいけないとなると、かなりの負担を感じるため、可能な限りシンプルなものにして欲しい。

- 単元シートの様式は、見やすく評価しやすい形が見えたと思います。現行の単元シートと単元の評価を学習指導要領を踏まえて行うためには、中学部の教育課程の見直しが必要かもしれないと、3年の事後検討会の時に思いました。どうでしょうか？
- 単元や授業の目標、評価を意識することが今年度の研究を通して向上したように思う。すみません。特にありません。
- 毎回、単元シートをつくることは、時間的にも労力的にも難しい。今年度は学年で年1回ずつ行ったことでお互いに勉強になった。

【高等部】

- 特になし
- 特にありません。
- 改めて評価に意識を向けることができました。
- 自立活動について。具体的な支援方法を共有したい。
- 個人としての反省は評価の記録は完全にできていなかったもので、来年度は記憶するだけでなく、データか紙媒体に記録を残しておくようにしておきたい。
- 単元シートの簡素化。
- 個別にあった目標設定と評価がしにくいような気がした
- 単元シートをより見やすい形式にしてほしいです。
- 研究授業では単元シートや授業シートを作成しているが、普段の授業では題材・単元計画を作成している先生が多いと思う。普段の授業でも作成し使いやすいものにしていけるとよいと思う。
- 時間の確保。
- 教育課程や年間指導計画を確認し、生徒の実態に合わせた目標を設定して授業に取り組むことができた。今年度の内容を参考に次年度も実践していきたいと思った。
- 特にありません
- 学年でより良い授業に向けた話し合いや実践を行うことで、共通認識や創意工夫が図れ、生徒にとっても、教員にとっても良い取り組みだと感じた。
- シートを日常的に活用していくのは難しいと感じました。
- 研究授業でも調整して、他学部の実際の授業を見に行くのは難しいが、今年のようにライブ配信したり、放課後に動画を流していただくと内容等理解できた（研究部の方々はたいへんだと思いますが）
- 研究授業をいろいろと学習のまとめなどで計画の詰まっていると思われる年末よりも早い時期で行えると、落ち着いて参観できると感じました。
- これまでは授業実践に焦点を当てていたが、評価に焦点を当てるとなると、事後検討会や反省の共有までフォローアップする必要があったなと感じます。次年度はそれができる仕組みを作れたらいいですね。
- 単元シートの使用により、学部や学年を越えたつながり持つことができたと思います。
- 個別の指導計画と単元シートを両方作成するのは現実的にかなり負担。どうにかならないですかね。
- 生徒の実態に即した教育課程。
- 今年度、授業を見合いましょうという雰囲気があったので、来年度はさらに互いに見合って研修を重ねていければ、と思います。
- 多様な学びの支援のあり方について学んでいきたい。国語・道徳の教材がたくさんあると授業の内容を深められると感じています。道徳の教材で生徒の考えを広げられるようにできたらと考えます。
- 教員間の連携、共通理解。
- 教員間の連携、打ち合わせなどが必要だと思います。

○まずは、前日も記入したことが前提にあることには変わりありません。授業提供をしている教員の負担が大きく、指導案にT2以下にも名前があるにもかかわらず、全部T1の負担になってる。研究内容の成果に全く関係ないことですが、このような意見も吸い上げていただき、今後の授業作りにいかせるようにできないのかと思う。そうとなると、常日頃のTT間の連携が必須になり、教員側の気持ちが充実していないと生徒達への授業も、ただ流れて行くだけの計画になってはならないと思う。

(課題) (生徒数が多いと載せる情報量が多くなるが・・・) 見やすい単元シートはどうあるべきか。

○研究授業を学部をこえて、みんなで参観し合えたのが良かった。また、研究部通信で授業実践を共有できたのがよいと思った。

○お忙しい中、色々設定していただいた先生方、授業を快く引き受け提供してくださった先生方ありがとうございました。さまざまな研究授業が重なる時期がありました。行事等の関係で難しいことかもしれませんが・・・。分散させ、計画的にできればと思いました。

○今年度は、他学部の授業を見ることができて大変貴重な時間となった。また、単元シートもそれぞれの学部や学年に応じた形式があって、勉強になりました。それぞれが使いやすい単元シートがあって良いなと思いました。課題は、教員間の連携や学習評価だと感じました。

考察

事前調査と事後調査を比較すると、全ての設問について肯定的な回答が大きく増えており、学習評価への不安感も少なくなっていることが分かりました。単元シートを活用することで、学習評価や反省を意識した授業作りへの理解が深まったことが要因として考えられます。

一方で、学習評価の方法に関する理解の不十分さや単元シート作成の負担を感じている教員がいることも分かりました。今後は、事後検討会や反省の共有までをサポートする手立てを講じることで、さらに単元シートの効果的・効率的な活用方法を検討していくことが重要であると考えられます。

また、自由記述では学部間の参観授業についての記述が多数見られました。参観者数を増やすために、日程の調整や録画したビデオの配信を視聴するなど、今年度の反省を生かしていきたいと思います。

意識調査への御協力、ありがとうございました